

『感性と独創力』

技術教育国際フォーラム協議会、日本工業大学編／丸善

本書は、技術教育における感性の重要性について、大川陽康先生（技術教育国際フォーラム協議会・日本工業大学理事長）が開催された、第1回技術教育国際フォーラム「感性と工学」の講演・パネルディスカッションの記録を取り纏めたものである。その中では、感性と工学、感性とベンチャー、感性と教育、感性とモノづくり、感性と独創力の5テーマについて、各学会を代表する有識者による議論が詳細に記されている。その中で、技術者教育における感性の涵養の必然性・重要性に関する議論は、技術者教育に携わる者としてだけでなく、技術を志す若者（学生諸氏）には有意義であろう。とりわけ、感性とモノづくりの中で、西澤潤一先生が述べられている、“技術”と“科学”のそれぞれの意義と相互関係については、技術科学教育に携わるものとして、大事な糧となっており、日々の教育で活かせればと考えている。本書は、21世紀の技術・科学を担う学生諸氏に、是非、一読をお勧めしたい一冊である。

執筆者紹介

中川 匡弘

電気電子情報工学専攻教授。専門領域は、カオス工学、フラクタル工学、感性情報・脳機能計測工学。

【書名】 著者名 翻訳者名 出版社または文庫・シリーズ名 出版年 税込価格
『感性と独創力』技術教育国際フォーラム協議会、日本工業大学編 丸善 2003年
1,296円

[ブックガイド目次へ](#)